



所要時間
徒歩2時間

市 HP



おすすめ時期
通年

このコースのポイント
南田原の歴史を感じられる

コース案内

コース案内	1	2	3	4	5	6	7	8	ゴール
生駒駅北口バス停	宛の木の夫婦地蔵	住吉神社	南田原町のまちなみ	岩屋口名号碑	長樂寺	法薬寺	稲葉谷の石佛	長髓彦の碑	生駒駅北口バス停
徒歩 3分	徒歩 16分	徒歩 10分	徒歩 7分	徒歩 2分	徒歩 11分	徒歩 12分	徒歩 3分	徒歩 15分	徒歩 16分
南田原バス停	南田原	お松の宮	岩屋口	岩屋口	岩屋口	稲葉	しらたに公園	出店バス停	生駒駅北口バス停
滞在 5分	滞在 3分	滞在 3分	滞在 1分	滞在 2分	滞在 3分	滞在 3分	滞在 3分	滞在 5分	滞在 5分
お出かけ例	約80分					約60分		約40分	
生駒駅北口バス停	1	2	3	4	5	6	7	8	生駒駅北口バス停
10:21発	10:31着	散歩・散策					昼食・休憩		13:58着
							散歩・散策		14:14着発

1

宛の木の
夫婦地蔵



右側は地蔵立像(鎌倉時代(推定))、左側は阿彌陀立像(室町時代(推定))。

2

住吉神社
(伝おまつ宮)



伝おまつ宮のいわれは、交野の磐船神社から松の苗を移したからといわれている。龍ヶ淵は、天野川の源流の1つで、いかなる干ばつにもかれたことはないという。「布留之碑(ふるのひ)」には星の森の由来が記されている。

3

南田原町の
まちなみ



古い大きな屋敷が多く残る昔ながらの風情を色濃く残したまちなみ。独特な外観をもつ茅葺きの大和棟の家なども現存する。

4

岩屋口名号碑



「南無阿彌陀佛」の自然石大字名号板碑は、慶長2年(1597年)の銘がある。となりの明治27年、力士の小雀と三郎(こずめよさぶろう、本名:辻本と三郎)が、西側の田んぼに土俵をつくり記念相撲を興行したことにちなむ記念碑。

5

長樂寺



融通念仏宗。平安末期に生まれた国産念仏門最初の宗派。生駒谷・富雄谷・平群谷には融通念仏宗の信者が多い。本堂前から、鐘楼とともに望む生駒山は絵になる。

6

法薬寺



通称:新塔堂(シンドンドオ)。18世紀末ごろの作という。当寺所有の「矢田地蔵縁起并地獄絵図」は、矢田寺の矢田地蔵信仰に関係するものといわれ、地蔵盆に開帳される。地蔵盆には数珠くりも行われる。

7

稲葉谷の石佛



通称:南田原の摩崖仏。「奉成就大峯山三十三度供養安永七年(1778年)五月吉日 南田原村願主任左右衛門」の銘がある。

8

長髓彦の碑



日本書紀によると、神武天皇東征に抵抗した添下郡鳥見郷(現生駒市北部)の豪族、長髓彦の本拠地という。記紀では、膳駒山の西、草香の地でこれを迎え撃った大和の先住者が長髓彦となっている。